白樺

７月４日（金）　第１３号
発行責任者
泉崎中学校長　角田敏文

努力を積み重ねれば平凡は非凡に変わる

遺伝子学の第一人者である筑波大学名誉教授の村上和雄先生は、いわゆる「火事場のバカ値力」に関して、とてもわかりやすい解説を揮されております。極限状態で発揮される眠っている人間の力が、なぜ普段は使えないのか。それは、そうするための遺伝子の機能が通常はOFFになっているからで、このスイッチがON状態になれば、普段のバカ力を発揮することも可能だというのです。そして、そのプラス発想や積極思考などが前向きな精神状態や心の持ち方が大きく作用していると思います。思いに広げる力が私たちの可能性をおおきくしてくれるというのです。

人間に可能だと思いますか。実は、人間の頭で、これをしたいと考えられるようなことは、遺伝子レベルで見れば、あっていい可能な範囲にあるそうです。つまり、「思ったことはかなえられる」能力が、私たちの中にあるのです。志を高くもつことは大事です。ただし、そこにどれくらいの可能性があるかは存在しているのです。

それを実現するには、目標に向かって一歩一歩積み重ねる地道な努力を欠かすことはできません。夢と現実の大きな落差に打ちのめされることもあるでしょう。けれど、結局のところ、人生とはその「今日一日」の積み重ね、「今」の連続にほかならないのです。

一日の積み重ねが一週間、一ヶ月、一年となって、気がついたら、あれほど高く、手の届かないように見えた山頂に立っていたというのです。私たちの人生のありようなのです。すぐに結果を求めても、今日一日をきちんと生きなければ明日は描いた点までの近道などないのです。千里の道も一歩一歩、一日一歩からです。

どんな大きな夢も一日の積み重ねの果てに、やっと成就するものです。今日一日を訪れる一日一日を剣に生きてきます。いがしろにせず、懸命に、真剣に生きていけば明日は自然に見えてくる。その一週間を懸命に生きれば一ヶ月が見えてくる……つまり、すぐに未来を見ようとしなくても、今生きる瞬間瞬間に全力を傾注してなかった未来の姿がやがて見えるようになってくるものなのです。思いたずらに明日を心配し、思い悩んだりしなくても、まずは今日一日を充実させることに力を注いだほうが結局、夢を現実のものにできるのです。

【参考文献】生き方　稲森和夫

教育目標

◎自ら学びとる生徒
◎思いやりがあり、共に成長しようとする生徒
◎健康で積極的な生徒

子どもたちが夢を語り合う学校

力試し・実力テスト

３年生の第１回実力テスト終了しており、17日（木）には、１・２年生で実力テストが実施されます。

実力テストは、中学校での学習範囲全てから出題場合が多く、今までの学習の成果が試される試験になります。また、県立高校の入試により近い形で出題される傾向にあります。

分析（反省）→計画→練習→実践→作戦→

このサイクルの繰り返しにより、最後に喜びを得ることができます。そのため、学年や学級では、実力テストの大切さを話すとともに、週末課題に過去問を配っています。保護者の皆様、テストの結果だけを見るのではなく、普段の学習の様子を見てはげましの言葉をかけてあげてください。

週の行事予定

7	8	9	10	11	12
月	火	水	木	金	土
三者相談①	三者相談②	１年森林体験学習 ２年職場体験学習 ３年福祉体験学習 NO部活動デー	三者相談③	三者相談④ 幼児ふれあい体験学習２年	数学検定

三者相談が行われます

来週には、個別ごとの三者相談が行われます。特に学校側からは、**①学校生活の様子②友人関係の様子③部活動の様子④学習状況**等の話をしたいと思います。また、ご家庭からは、**⑤家庭生活の様子⑥家庭学習の様子⑦卒業後の進路**などのお話をお聞かせ願いたいと思います。

貴重な時間をさいていただき、しかもお一人十五～二十分と短い時間ですので、有意義な話し合いになるように、質問事項などを用意していただけると幸いです。

このQRからホームページがスマートフォンでご覧いただけます。